

令和4・5年度の活動の振り返りについて

① 高校生でのMM出前授業を見据えたツールの内容検討・活用について

【目的】

これまで、本市では小学校への出前授業や、市営交通マナーポスターコンクール、MM啓発グッズの作成等を実施してきています。これらの取組の対象は主に小学生であり、より幅広い世代へも取組を広げていきたいと考えています。

その中で、より社会参加に近く、公共交通の利用頻度が高い高校生に対し、出前授業や資料配布等によるMM推進を検討しました。

【検討の流れ】

取組提案をもとに取組を決定

対象世代：中学・高校（横浜市が行うMM出前講座の対象世代拡大がねらい）

テーマ：環境、健康、交通事故、コスト等の社会問題から公共交通を考える

発信方法：リーフレット等教材を作成し、一斉配布・展開できないか

MM部会にてリーフレット案を作成

教育委員会に今後の進め方について相談

「リーフレットの一斉配布により得られる効果は？一方的な配布ではなく、双方的な取組としたほうが、学校の理解を得られやすいのではないか」

「中学校はカリキュラム上難しいかもしれないが、高校の新科目「総合的な探求の時間」での取扱いであれば興味を持つ学校もあるのではないか」

→ 高校を対象に、「教える」ではなく「一緒に考える」を視点にリーフレット案を修正

MM部会にてリーフレット案を修正

高校を対象に、「教える」ではなく「一緒に考える」を視点に

教育委員会に学校での具体的な実施方法について相談

「高校生が公共交通の課題を考える意義は何か？」

「単発の授業実施ではなく、年間を通して生徒へのサポートが必要ではないか」

【検討状況】

出前授業やリーフレットの内容を検討する段階で、環境問題の視点に加え、生活インフラとしての公共交通の重要性といったまちづくりの視点等、幅広くテーマが挙げられました。

一方で、高校生がこの社会問題に主体的に取り組みたくなるような動機づけや、取り組む意義についての更なる整理が必要となっています。

また、この取組を実施する場合は「総合的な探求の時間」を活用することが想定されますが、本授業は年間を通してカリキュラムであり、1度きりではなく、継続的フォローを行うことが求められているため、早期の実施には実施体制に課題がある状況です。

② 小中学校におけるMM出前授業での授業教材の内容更新検討について

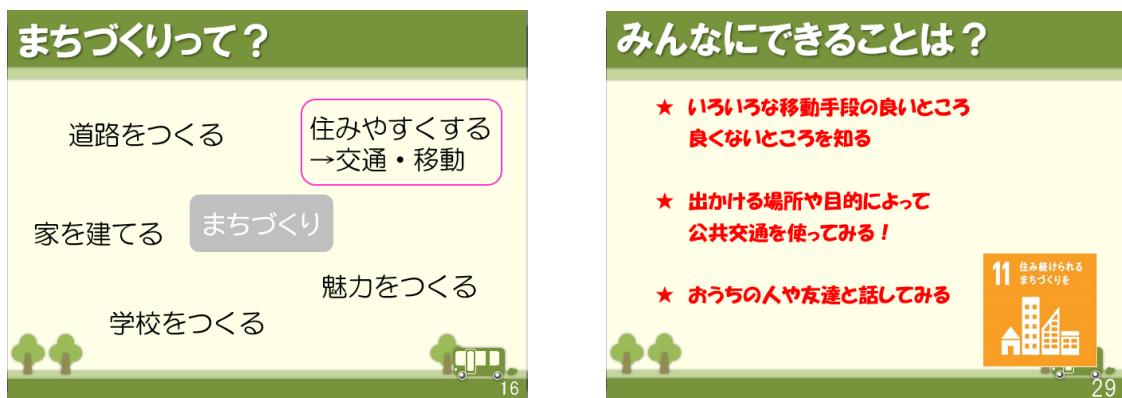
【目的】

本市では平成24年より、小中学校への出前授業を実施しており、使用する教材については都度更新を行っていますが、①の取組を検討する中で生まれたアイデアも活かし、改善していくことを目指すものです。

【実施概要】

これまでの授業では「環境問題」が比較的大きなテーマとなっています。一方で、近年は交通事業者の厳しい経営状況の中で、公共交通の利用を促し、高齢者をはじめとした地域住民の移動手段を確保することが「まちづくり」の視点からも重要であるといった意見が部会の中ありました。

そこで、令和5年度の出前授業では、先生と相談しながら、上記の内容も取り入れた授業も実施しました。



【参考】出前授業で使用したスライド（一例）